

1. スイスにおける出張の概要

マッターホルンをはじめとするスイスアルプスの麓に位置し、世界有数の山岳リゾート地であり、DMOの先進事例でもあるスイス・ツェルマツトを訪問し、当地のDMO（ツェルマツト観光局）の職員経験もあり、長年現地ガイドを務める山田桂一郎氏の案内により、当地の観光誘客に向けた具体的な取組状況を調査するとともに、DMOの代表であるルッゲン・ツェルマツト観光局長他と意見交換を行いました。

(1) ルッゲン・ツェルマツト観光局長と会談

日時:平成30年8月21日(火) 9:00~9:45

場所:スイス・ツェルマツト（ツェルマツト観光局内）

概要:当地のDMOであるツェルマツト観光局のダニエル・ルッゲン局長と面会し、同局の観光戦略（リピーター対策、ターゲティング）や観光人材育成に向けた考え方などについて幅広い意見交換を行うとともに、ツェルマツト観光局と我が国観光庁における今後の協力関係を確認。



ツェルマツト観光局長との会談

(左:ルッゲン観光局長/右:築政務官)



会談の様子

(左:ルッゲン観光局長/中央:築政務官)



観光案内所の様子

(左:ルッゲン観光局長/中央:築政務官)

(2) スイス・ツェルマツトへのアクセス鉄道を視察

日時:平成30年8月20日(月) 午前

場所:スイス・チューリッヒ空港~ツェルマツト間

概要:ツェルマツトはいわゆるカーフリーエリア（自動車アクセスはツェルマツト駅の1つ前のターシュ駅まで）となっており、チューリッヒ空港に乗り入れているスイス国鉄の高速鉄道及びアクセス鉄道を視察。



チューリッヒ空港地下にある
高速鉄道ホーム



アクセス鉄道のパノラマ車両
(左:築政務官/右:山田桂一郎氏)



自転車持ち込み可能な車両
(総二階建て車両の1階部分)

(3) ツェルマツ域内の観光資源を調査

日時:平成 30 年 8 月 20 日(月)午後及び 21 日(火)午前

場所:スイス・ツェルマツ

概要:登山鉄道(標高 1,600m のツェルマツから標高 3,100m の展望台まで 40 分で結ぶ)の終着のゴルナーグラート展望台を訪問し、住民自治組織(ブルガーゲマインデ)が 100 年以上運営するホテル・レストランの支配人と意見交換を実施。



ゴルナーグラート鉄道(登山鉄道)

(日本の富士急行と姉妹鉄道関係)



山頂のホテル

(客室からマッターホルン等が望める)



ホテル支配人との意見交換

(左:Marbach 氏/右:築政務官)

2. ドイツにおける出張の概要

今後の住宅・建築物の省エネ施策の検討の参考とするため、ドイツにおいて、建築士等の資格者制度の活用など、省エネ基準への適合確認やエネルギー証明書の内容確認※に要する行政側の事務負担を軽減するため、どのような措置を講じているか等について、ドイツ政府と意見交換を行いました。

※ドイツにおいては、原則として、

- ①全ての住宅・建築物の新築時・増改築時に省エネ基準への適合を義務付けているとともに、
- ②全ての住宅・建築物の新築時・売買時・賃貸借時に建築主・居住者に対してエネルギー証明書を提示・表示することを義務付けている。

(1) ドイツ連邦政府 ゲンター・アドラー内務・建設・故郷省事務次官等と会談

日時:平成 30 年 8 月 22 日(水) 9:00~9:45

場所:ドイツ・ベルリン・連邦政府庁舎会議室

概要:

- 住宅・建築物の省エネ基準適合義務やエネルギー証明書について、資格者の関与の有無や提出書類などの審査手続き、省エネ基準適合の実効性を確保するための措置等に関する意見交換を実施。
- スマートシティ実現に向けた取組についても意見交換を実施。連邦政府はこれに強い関心を示し、来日する際は関連施設の視察を希望。
- 今回の会談を契機とした、住宅・建築物の省エネ施策やスマートシティに関する我が国及びドイツにおける今後の協力関係について確認。



グンター・アドラー内務・建設・
故郷省事務次官との会談

(左:アドラー事務次官/右:築政務官)



会談の様子

(左:ドイツ政府側/右:日本政府側)

※出典: BMI / Bertrand



お土産手交の様子

(左:築政務官/右:アドラー事務次官)

(2) モダニズム集合住宅、ベルリン中央駅等の視察

日時:平成 30 年 8 月 22 日(水) 10:00~11:30

場所:ドイツ・ベルリン

概要:世界遺産に指定されているモダニズム集合住宅のほか、ベルリン中央駅等を視察。



モダニズム集合住宅の視察①



モダニズム集合住宅の視察②



ベルリン中央駅の視察

(3) ベルリン日本商工会との意見交換に出席

日時:平成 30 年 8 月 21 日(火)20:30~22:30

場所:大使公邸

概要:ベルリン日本商工会の方々と日系企業の進出動向等について意見交換を実施。